日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

コロナ禍におけるフードバンク活動のアンケート調査結果

調査目的：　弊連盟の認証団体が現在どのようなフードバンク活動を実施しているのかを把握するため。
調査時期：　２０２１年８月
調査対象団体：　日本フードバンク連盟の認証団体・準認証団体　計１１団体
回答率：　９０％（１０団体）
調査方法：　Googleフォームによるオンラインアンケート

※注意※　**こちらのアンケート結果を無断で使用することは禁じます。**

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

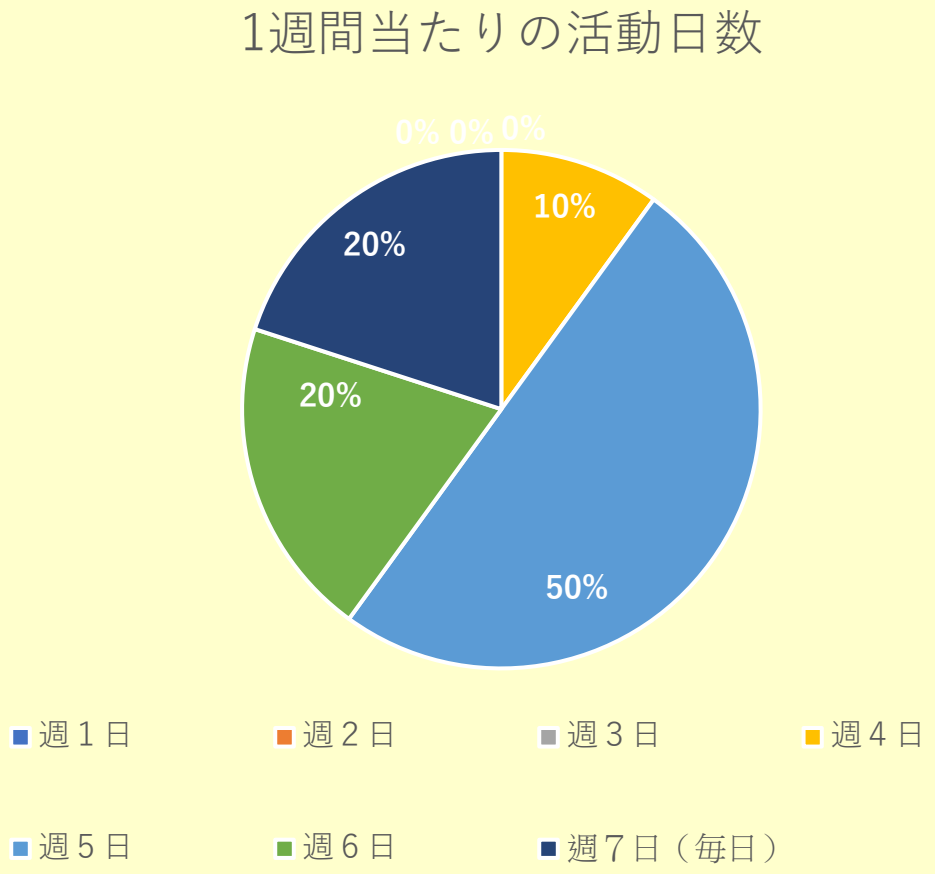
Ｑ１.スタッフ数（有給職員・ボランティア人数など）

団体	回答
A	職員１０名　　ボランティア４名
B	有給職員２名　ボランティア約７０名
C	有給職員４名　有償ボランティア４名　無償ボランティア約１０名
D	ボランティア　約１１０名
E	有給職員２６名　ボランティア約１００名/週
F	５名
G	５名
H	有給職員５名　ボランティア５名
I	１０名
J	有給職員6名　ボランティア(2020年度延べ767人実数250名コアボランティア15名)

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Ｑ２.貴団体は、週何日活動していますか。

団体	回答
A	週５日
B	週５日
C	週５日
D	週６日
E	週６日
F	週７日（毎日）
G	週５日
H	週７日（毎日）
I	週５日
J	週４日

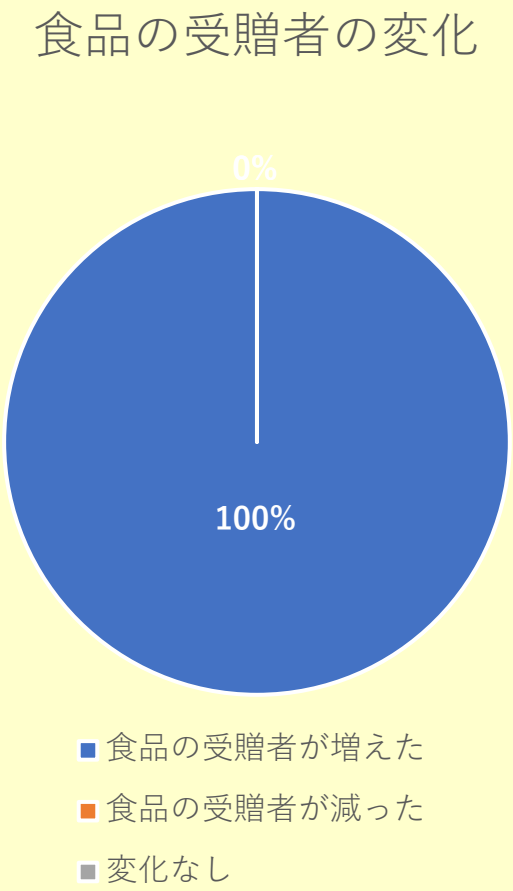


日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３．コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

①食品の受贈者の変化

団体	回答
A	食品の受贈者が増えた
B	食品の受贈者が増えた
C	食品の受贈者が増えた
D	食品の受贈者が増えた
E	食品の受贈者が増えた
F	食品の受贈者が増えた
G	食品の受贈者が増えた
H	食品の受贈者が増えた
I	食品の受贈者が増えた
J	食品の受贈者が増えた

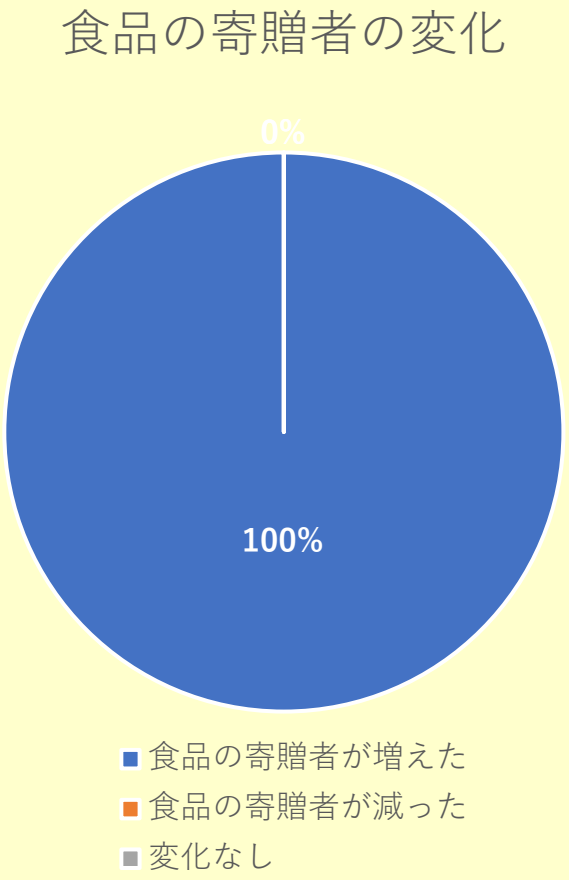


日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３．コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

②食品の寄贈者の変化

団体	回答
A	食品の寄贈者が増えた
B	食品の寄贈者が増えた
C	食品の寄贈者が増えた
D	食品の寄贈者が増えた
E	食品の寄贈者が増えた
F	食品の寄贈者が増えた
G	食品の寄贈者が増えた
H	食品の寄贈者が増えた
I	食品の寄贈者が増えた
J	食品の寄贈者が増えた

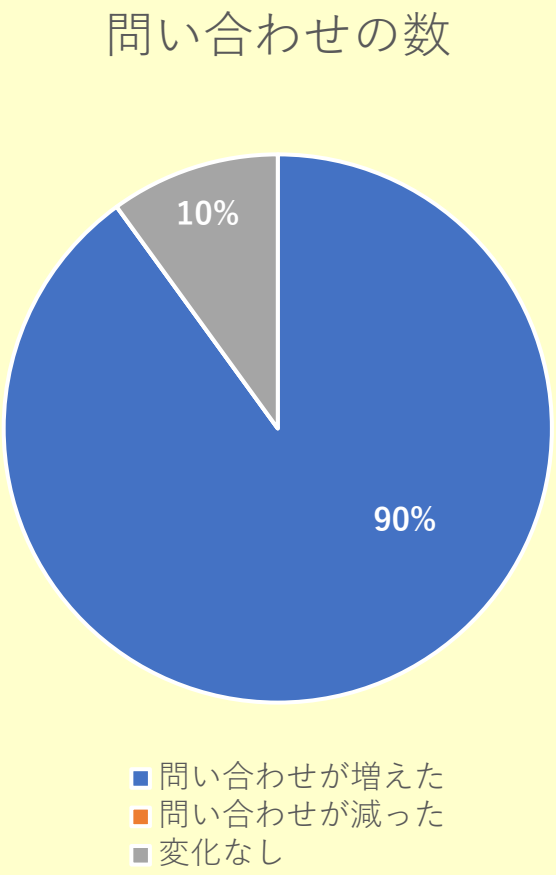


日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３. コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

③貴団体への問い合わせ数

団体	回答
A	問い合わせが増えた
B	問い合わせが増えた
C	問い合わせが増えた
D	問い合わせが増えた
E	変化なし
F	問い合わせが増えた
G	問い合わせが増えた
H	問い合わせが増えた
I	問い合わせが増えた
J	問い合わせが増えた



日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３. コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

④上記③の質問で「増えた」と答えた団体は、どのような問い合わせが増えましたか？（記述式）

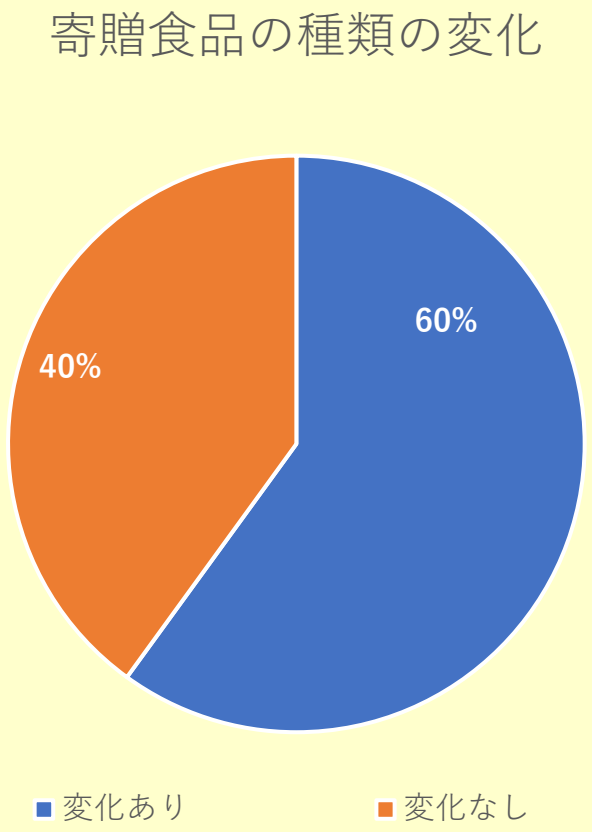
団体	回答
A	コロナ禍による失業・生活保護申請中受給までの繋ぎ支援 コロナによる離職、収入減による支援依頼
B	食品受贈、寄贈の問い合わせ
C	個人から食品を希望したいという問い合わせが増えた。 問い合わせ内容がコロナにおいて収入が減った、休校措置により食費が増えて困っているなど具体的な理由が多くなっている。
D	パントリーや子ども食堂からの食支援の依頼、企業からの食品寄贈の問い合わせ
E	―
F	コロナで売れなかったからどうにかできないか、という問い合わせ
G	生活困窮者からの食料支援
H	個人への食品提供について
I	生活に困っている人から食品の支援をいただきたいという問い合わせ
J	食品を得たい個人や団体と提供したい企業等の両方からの問い合わせが増加

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３. コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

⑤寄贈食品の種類に変化はありましたか？

団体	回答
A	変化なし
B	変化なし
C	変化あり
D	変化あり
E	変化あり
F	変化あり
G	変化なし
H	変化あり
I	変化なし
J	変化あり



日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３. コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

⑥上記⑤の質問で「変化あり」と答えた団体は、寄贈食品の種類にどのような変化がありましたか？（記述式）

団体	回答
A	―
B	―
C	お米の寄贈が増えた。
D	防災備蓄品の提供が増えている。個人が米や食品を購入して送ってくださることが増えた。
E	変化は一部あった。給食センターでの余剰食品など、明らかにコロナ禍の影響での提案は若干あった。
F	土産物や飲食店向け業務用食材など。
G	―
H	冷蔵食品・野菜の寄贈が増加。
I	―
J	コロナ禍の初期段階ではお菓子の寄贈が増加した。その後は特に種類の変化はなし。

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q３. コロナ禍の以前と以後で、貴団体のフードバンク活動にどのような変化があったかを教えてください。

⑦その他に、コロナ禍の影響で見られた変化があれば教えてください。 （記述式）

団体	回答
A	―
B	各種団体、個人からの食品や活動資金の寄付が増えた。 ボランティアが増えた。（活動を自粛される方がいる一方で、それを大きく上回るボランティアが参加した。） 生活困窮者自立支援法の窓口からの食料支援要請が大きく増えた。
C	食品を希望する数は高い水準が続いており、以前はまれだった公立の学校の教員やスクールソーシャルワーカーから直接食品の依頼が増えた。
D	困窮する一般の個人、世帯から食料を求める連絡が入ることが多くなった。
E	寄付金が増えた。一時的にボランティアさんの参加が少なくなったが、時がたつにつれて増えた。感染対策に敏感になった。
F	県内に無秩序にフードバンクもどき団体やパントリーもどき団体が増えた。
G	―
H	個人への食支援が増加
I	個人支援の場合、食品を支援する期間が長くなる人が多くなった。
J	パントリーで行政や社協からの要請時に必要とする1件あたりの食品量が増加しており、困窮の度合いが以前より増している。

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q４. 貴団体が活動する上で、今一番困っていることは何ですか？（記述式）

団体	回答
A	活動のための人材・資金。資金調達。
B	活動拠点（事務所兼倉庫）が手狭となっており、人・物が密状態であること。
C	つい 先日、長年ボランティアでドライバーをしてくれていた70代の男性がコロナ感染で亡くなりました。 スタッフみんな悲しくて辛いのに、日々の忙しさにその穴埋めに必死で、振り返ったりたち止まったり考える余裕もない状況です。 スタッフの気持ちを聞いたり癒せたり頼りになったり何もできない自分も情けないです。
D	倉庫が手狭になってきているが常に満杯とは限らない。ボランティア希望が多いがマネジメントが難しい。
E	パントリー活動において予め用意した食品袋を手渡すので、顧客満足度は下がったと思われる。
F	お金がない。
G	必要としていない食品の寄贈が多い。
H	活動資金
I	調理不要の食品（缶詰、レトルト、ふりかけ等）の食品が不足している。
J	（活動資金の確保以外では）人材育成

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q５.貴団体が今後の活動を展開するにあたり、不安に感じていることは、どのようなことですか？（複数回答可）

選択肢：人手不足，　活動資金の調達，　人材育成，　その他

団体	回答
A	活動資金の調達
B	その他（活動の拡大を抑制せざるを得ない状況にあり、その対応に不安を感じる。）
C	人手不足,活動資金の調達,人材育成, その他（自分自身の体調含め、スタッフの社会保障。）
D	人材育成
E	活動資金の調達, 人材育成, その他（コロナ禍ということで言えば、スタッフ感染により活動の一時休止）
F	活動資金の調達, 人材育成
G	人手不足, 人材育成
H	活動資金の調達, 人手不足, 人材育成
I	活動資金の調達, 人手不足
J	活動資金の調達, 人材育成, その他(事務所(倉庫)の場所、食品取扱い量が増え移転も視野にいれているが費用や場所に不安あり)

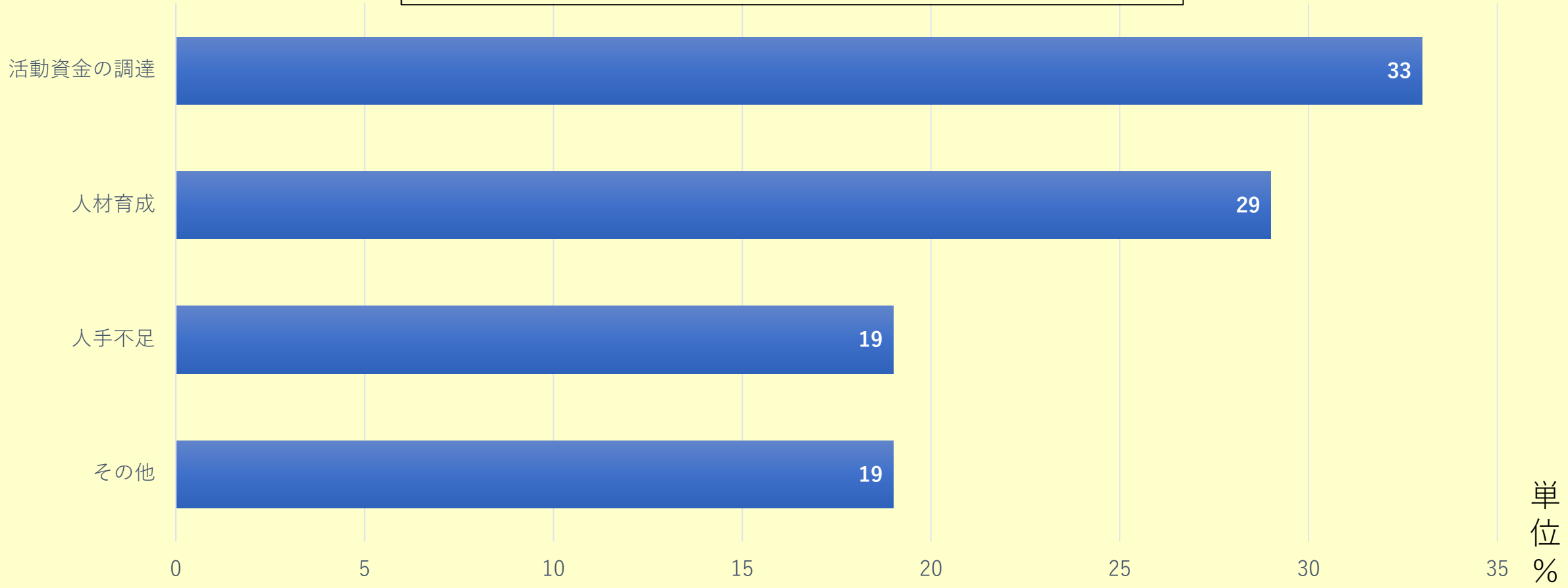
日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q５.貴団体が今後の活動を展開するにあたり、不安に感じていることは、どのようなことですか？

※グラフで回答表示

（複数回答可）

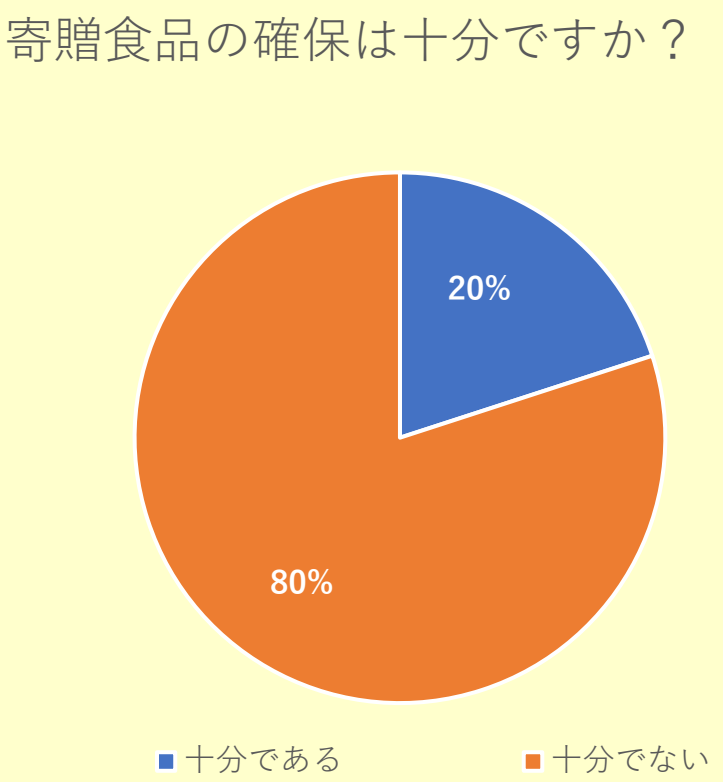
選択肢：人手不足，　活動資金の調達，　人材育成，　その他



日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q６.貴団体が活動を展開するにあたり、寄贈食品の確保は十分ですか？

団体	回答
A	十分でない
B	十分でない
C	十分でない
D	十分でない
E	十分でない
F	十分である
G	十分である
H	十分でない
I	十分でない
J	十分でない



日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q７.上記６の質問で「十分でない」と答えた団体は、何が阻害要因だと考えられますか？（記述式）

団体	阻害要因
A	寄贈食品の偏りの問題
B	必要な食品の確保という点で十分ではないが、阻害要因で大きいのは食品メーカーの守りの姿勢で、これを打破する政策（例えば「良きサマリア人法」）が必要と思われる。
C	いろいろありすぎて書ききれない。 そもそもよもやフードバンクが本当に必要なのかも分からなくなっています。社会不備で出来た仕組みであるフードバンク。 これだけいろんな特選が広がってきたんだからもう実は必要じゃないんじゃないかなと思います。
D	多くて困るものもあるが、個人世帯への支援に必要なものが不足することがある。企業が提供したいものと受取りたいもののミスマッチ。
E	供給とニーズのアンバランス。量と質の両方問題がある。
F	―
G	―
H	運搬能力
I	需要が増大しているので食品量が十分ではなくなっている。
J	おかず類が不足しているが食品加工をしている企業が岩手県には少ないことも原因の一つである。

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q８.受贈者へ届ける食品のうち、不足している食品はどれですか？（複数回答可）

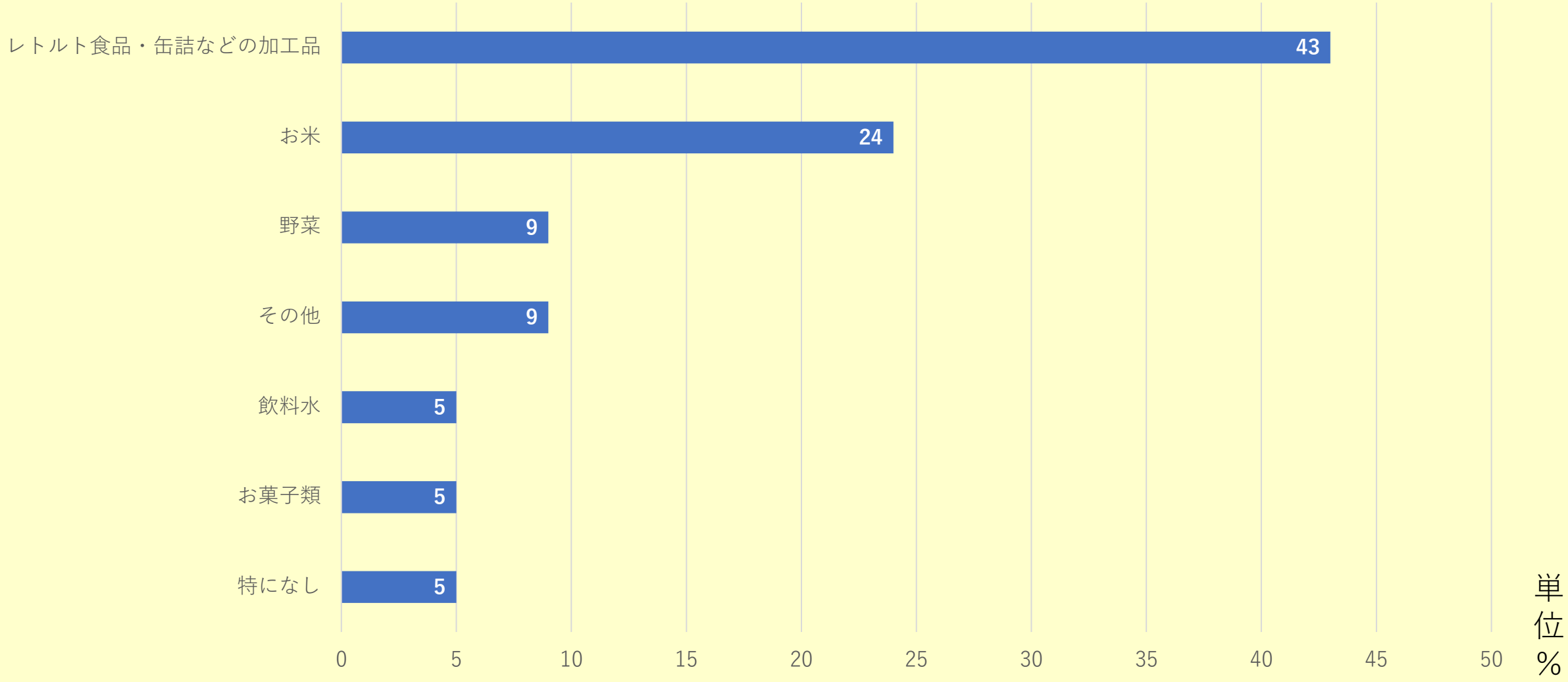
選択肢：お米、レトルト食品・缶詰などの加工品、お菓子類、野菜、飲料水、特になし、その他

団体	回答
A	お米, レトルト食品・缶詰などの加工食品
B	お米, レトルト食品・缶詰などの加工食品
C	お米, レトルト食品・缶詰などの加工食品, お菓子類, 野菜, 飲料水, その他（乾物）
D	レトルト食品・缶詰などの加工食品
E	お米, レトルト食品・缶詰などの加工食品, 野菜, その他（蛋白源となる食品）
F	特になし
G	レトルト食品・缶詰などの加工食品
H	お米, レトルト食品・缶詰などの加工食品
I	レトルト食品・缶詰などの加工食品
J	レトルト食品・缶詰などの加工食品

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q８.受贈者へ届ける食品のうち、不足している食品はどれですか？ （複数回答可）

※グラフで回答表示



日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q9.日本のフードバンク活動の今後の発展において、何が重要だと思いますか。（複数回答可）

選択肢：フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, 行政機関との連携, 活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備, スタッフやボランティアの人員確保, その他

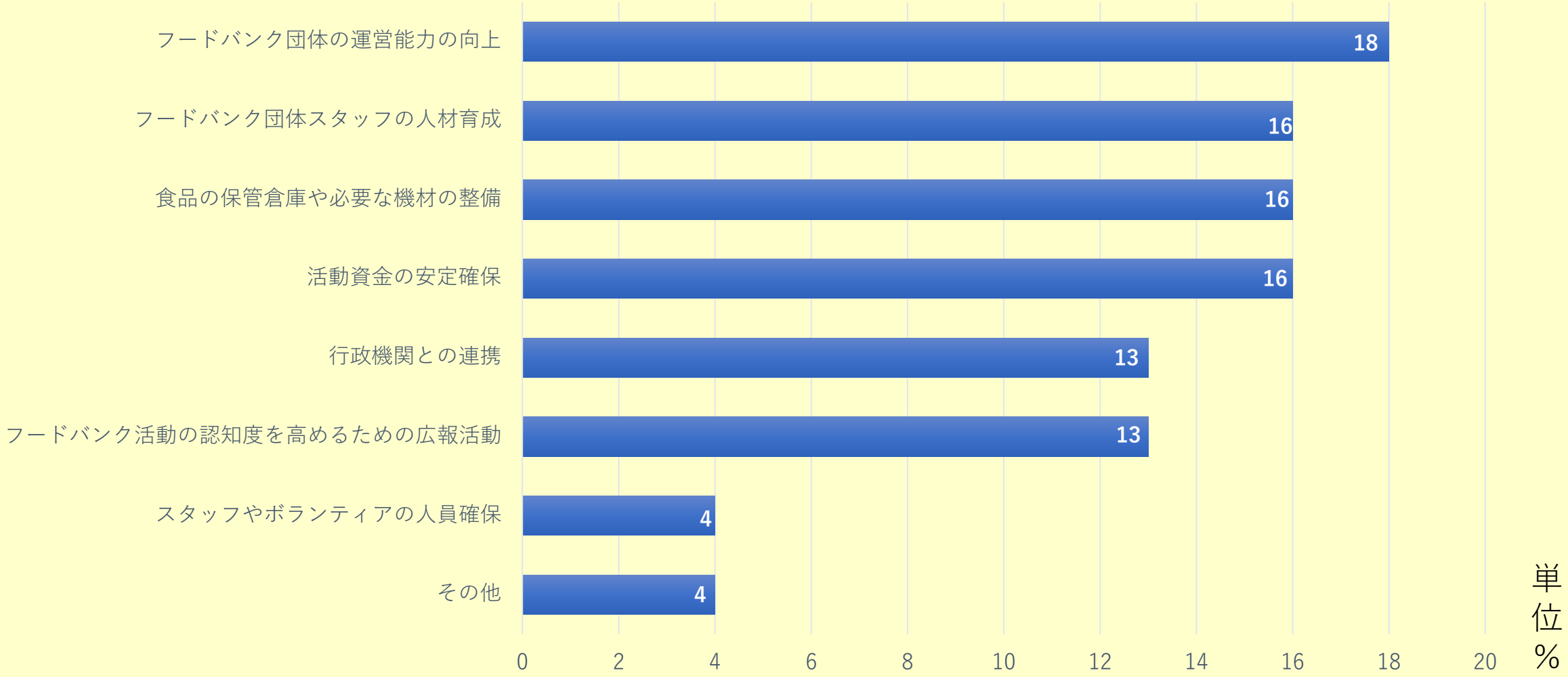
団体	回答
A	活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備
B	フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, 行政機関との連携, 活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備
C	フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, その他（もう行政との連携はほぼ諦めようと思ってます。国や市町村の委託事業が入札になっていくと 事業内容の充実よりも人件費削減置が目的の一つなら行政とはもう現界です。）
D	フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, 行政機関との連携
E	フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, 行政機関との連携, 活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備, スタッフやボランティアの人員確保, その他（フードバンク団体向け中間組織の資金収集能力と配分機能の装備）
F	フードバンク団体の運営能力の向上, 活動資金の安定確保
G	フードバンク団体スタッフの人材育成, 行政機関との連携, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備
H	フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, 行政機関との連携, 活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備, スタッフやボランティアの人員確保
I	フードバンク活動の認知度を高めるための広報活動, フードバンク団体の運営能力の向上, 行政機関との連携, 活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備, スタッフやボランティアの人員確保
J	フードバンク団体の運営能力の向上, フードバンク団体スタッフの人材育成, 活動資金の安定確保, 食品の保管倉庫や必要な機材の整備

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q９.日本のフードバンク活動の今後の発展において、何が重要だと思いますか。

※グラフで回答表示

（複数回答可）



日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

Q10. 他のフードバンク団体と意見交換したい内容（知りたい情報など）がございましたら、お聞かせください。

団体	回答
A	資金・人材について、運営に関する資金的な取り組みについて。
B	活動の拡大を余儀なくされる中、近隣の弱小フードバンクとの連携（棲み分け）も必要と思われ、その対応などどうしているか。
C	今特に力をいれている事業やプロジェクトについて。
D	スタッフ間での情報共有の仕方や業務の分担についてや、ボランティアが一同に集まる機会がコロナ禍でほとんどなくなっていることから、一体感をもつにはどうすればよいかについてお話を聞きたい。
E	どのくらいの食品を取り扱えて、支援活動の範囲を拡大したいか。
F	—
G	—
H	食品管理のシステムについて。
I	行政との連携事例について。
J	理事等の役員とボランティアさんとのコミュニケーションの場の作り方について。

調査を振り返って

日本フードバンク連盟
Alliance of Japan Foodbanks

- コロナ禍でフードバンク団体がどのような活動を行っているかを調査する目的で今回のアンケートを実施した。結果からコロナ禍では受贈者、寄贈者ともにすべての団体が増加傾向になっていた。

- 問い合わせ件数も9割の団体がコロナ禍以前より増えたと回答している。その内訳を見ると、さまざまな理由からコロナ禍で困窮する人々がフードバンク団体へ食品を求める一方、食品企業からも食品を提供したいという声が寄せられており、フードバンク団体の需要が高まったと言える。

- 今後の活動を展開するにあたり、「活動資金の調達」や「人材育成」の視点を不安視する団体が多かったことや「フードバンク団体の運営能力の向上」が今後のフードバンク活動の発展に必要だとする意見が多かったことから、持続可能なフードバンクの在り方を考えていく必要性を再認識した。